

CFAI2018海外派遣報告・説明会を開催

平成30年6月22日(金) 15:00より青葉山新キャンパスアカデミックcommons第4講義室にてCFAI2018海外派遣報告および説明会を行いました。

牧野研究科長から、農学研究科における昨今の海外派遣の状況と重要性並びにCFAIの取り組みの発展と有効活用に関するご挨拶を頂き、会は昨年と同様2部構成で進められました。第一部では、昨年度海外派遣された学生の中から、古川恭平君(DC3(動物栄養生化学分野)、テキサスA&M大学派遣)より体験記について英語で発表頂きました。素晴らしいプレゼンと内容から、貴重かつ充実した経験をされたことが強く伝わりました。海外派遣報告に引き続き、CFAIの英語講義を受講後、昨年度海外派遣されこれまでに帰国した学生8名へCFAIセンター長よりCertificateが授与されました(授与式には4名が出席)。海外派遣学生には、CFAIが新たに開発した「サーモン型教育」へのファシリテーターとしての貢献も期待しています。第2部では、北澤CFAI副センター長より、JSPS拠点形成事業等を基盤としたCFAI国際特別教育プログラムを主とした2018年度の海外派遣に関する説明がありました。教務より早坂教務係長および小坂さんにも出席を頂き、本プログラムによる海外派遣の教務手続きについてサポート頂くことを参加者の皆さんに周知させて頂きました。その後、海外派遣に関する質問を受け、最後に、高橋(英)CFAIセンター長より、CFAIの国際研究教育に関するサポート体制とその利用について改めて紹介がありました。海外における貴重な体験を通して、「食と農免疫」グローバルエキスパートを目指して欲しいと思います。

牧野研究科長 挨拶



古川恭平君の発表風景



高橋CFAIセンター長 挨拶



Certificate Giving Ceremony



(左から高橋CFAIセンター長、袴田祐基君、古川恭平君、古川睦実さん、高橋大輔君、牧野研究科長)